

2006年10月31日

伊藤園本社ビルにて廃棄物ゼロエミッション達成

～ 経営方針である「みんなで環境を考える伊藤園」の一環として
今後もリサイクル活動に積極的に取り組みます～

株式会社伊藤園(社長:本庄八郎 本社:東京都渋谷区)は、2005年3月より本社ビルにて廃棄物の分別方法を細分化し、廃棄物ゼロエミッションを推進してまいりましたが、2006年9月より本社ビルから排出される廃棄物に関して100%リサイクルする仕組みを確立し、ゼロエミッションを達成しました(熱処理後の燃え殻は除く)。

伊藤園本社ビルでは、特に生ゴミに関してはバイオマス発電によるエネルギー回収や、一般廃棄物はサーマルリサイクル処理による熱回収をしています。

当社では既に、事業所を除く生産本部静岡相良工場で1999年5月、浜岡工場で2001年11月より製造工程に関わる廃棄物のゼロエミッションを達成しており、それに次ぐ本社ビルでの達成となります。

今後も引き続き、自社物件を中心とし、ゼロエミッションを拡大していきます。

また環境への取り組みの一環として、本社でのISO14001の認証取得を推進するとともに全社での認証取得を目指します。



(写真)伊藤園本社ビル地下1階廃棄物分別BOX

本社ビルでの分別の内訳は下記の通りです。

紙類、新聞、雑誌、段ボール、シュレッダーくず、プラスチック類、PETボトル、アルミ缶、スチール缶、ビン、割り箸、一般廃棄物、生ごみ、金属類、陶器ガラス、蛍光灯、乾電池

株式会社伊藤園では経営方針に「みんなで環境を考える伊藤園」を掲げ、環境活動を推進しています。2006年度の環境への主な取り組みとして2006年6月営業拠点で初めて広島東支店でISO14001の認証を取得、9月より伊藤園西新宿ビルにてアダプトプログラム活動を開始、9月末には「社会・環境報告書 2006」の発刊をし、環境報告以外にも特集では「お〜いお茶」の原料から販売されるまでの取り組みを委託製造先の方々や社員を通してご紹介しています。また、伊藤園独自の取り組みとして製造工程で排出される茶殻をリサイクルしており、茶配合ボードなどの多分野に渡る開発に成功しております。茶殻リサイクルシステムの取り組みに対して2005年12月、第2回エコプロダクツ大賞にて農林水産大臣賞を受賞、続いて2006年8月ウェステック大賞 2006 環境大臣賞を受賞しました。

今後も、環境問題に引き続き力を入れるとともに、社会貢献活動も積極的に推進していきます。